

全国大学書道パフォーマンス大会

——本格の書のステージ——

大会規則

1. 大会の目的

本大会は、書道を学ぶ大学生及びそれに準ずる者を対象とし、古典をベースに書法に重きを置いた、近年盛んな書道パフォーマンスと席上揮毫の融合、すなわち新しい「本格の書のステージ」を創出することを目指す。これにより、王道の書が新たな社会との繋がりを持ち、次世代にさらに継承され発展し、日本の伝統文化の進展に大きく貢献することを目的とする。

2. 主催・後援

- (1) 主催者：公益社団法人日本書芸院および読売新聞社
- (2) 後援団体は決定次第ホームページで公表

3. 参加資格

- (1) 国内外の大学等（専門学校・短期大学・大学院を含む）に在籍している者。
- (2) 前号に準ずる者で、主催者が特に参加を認めた者。
- (3) 開催年の4月1日時点で、満18才以上25歳以下であること。

4. チーム編成・参加辞退

- (1) 1チームの揮毫者は3名以上10名以内、揮毫者控は3名以内とする。
- (2) 所属大学等は同一でなくてもよい。
- (3) 同一大学等から複数チームの参加を認める。ただし、参加者の重複は認めない。
- (4) 揮毫者に欠場者が生じた場合、届け出により揮毫者控を揮毫者に変更できる。
- (5) 参加者の変更は、主催者が定める期日までに届け出ること。
- (6) 参加を辞退する場合、速やかに書面または電子的手段により主催者に連絡すること。
- (7) 辞退が発生した場合、繰り上げ出場を認めることがある。

5. 提出物

参加希望者は、次の提出物を主催者が指定する期間内に提出する。

- (1) 参加申込書
- (2) 企画書（兼 提出物チェックシート）
- (3) 使用楽曲報告書
- (4) 揮毫作品画像（A4プリント1枚および1MB以上のデータ、jpg または png）
- (5) パフォーマンス動画（7分以内、解像度1920×1080推奨、mp4）

6. 提出物の注意事項

- (1) 作品画像は、正面から撮影し、作品がわかるものとする。
- (2) A4プリント裏面に参加チーム名を明記する。

- (3) 動画の撮影は、ズーム等の操作・編集を認め、カメラは2台まで使用可。
- (4) 動画には挨拶や作品掲示も含める。
- (5) 画像・動画は、同一作品を撮影したものでなければならない。
- (6) 作品内容の変更や合成などは禁止。ただし、トリミング・色調補正は可。
- (7) 画像・動画は、開催年の1月1日以降に撮影された、未発表作品に限る。

7. 参加料

参加料は無料。

8. 予選

審査は予選と本選の2段階で行い、予選でおおむね7チームの本選出場チームを選出する。

9. 本選

- (1) 予選通過チームが所定の会場においてパフォーマンスを行い、審査を受ける。
- (2) パフォーマンス順は、主催者による抽選で決定し、事前に公表する。
- (3) 本選のリハーサルは行わない。

10. 審査員

- (1) 予選・本選とも、主催者が委託した審査員が評価・採点を行う。
- (2) 本選審査員は本選前に発表する。

11. 評価基準

評価基準は100点満点とし、次の配点とする。

- (1) 技術の習熟度（55点満点）
 - イ 用筆の錬度
 - ロ 書の古典の理解と現代的再表現
 - ハ 複数の書体による調和
- (2) 作品の出来栄え（完成度）（25点満点）
 - イ 紙面における変化と統一感
 - ロ テーマ性
- (3) 芸術性（20点満点）
 - イ パフォーマンス全体の構成
 - ロ 感興の享受（揮毫を通じ、文字・形・運筆・言葉・音などの総合的な芸術表現が鑑賞者の感覚に働きかけ、感動を呼び起こすか）
- (4) その他の留意事項
 - イ 本格の書に相応しい身体表現に努め、特に揮毫時は不要な所作は控える。
 - ロ 書字行為・身体表現・構成を一体とした、総合的な芸術行為として評価する。

12. 結果発表

審査結果はホームページで公表する。

13. 表彰

- (1) 本選出場チームには、活動支援金3万円を授与する。

(2) 本選における表彰は次のとおり。

- イ 最優秀賞（技術・表現など全てにおいて卓越） 賞金10万円
- ロ 技能賞（技術・作品構成など） 賞金3万円
- ハ 敢闘賞（挑戦・努力・熱意など） 賞金3万円
- ニ 特別審査員賞 賞金3万円

14. パフォーマンスの披露

受賞チームは、「全日本高校・大学生書道展」授賞式でパフォーマンスを披露する。

15. 揮毫用紙

- (1) 揮毫用紙は、縦4m×横6m以内、参加チームが準備する。
- (2) 揮毫用紙の色・事前加工・装飾は自由。（例えば、書表現に必要な扇面型用紙等の貼り付け、ペンキ・カラースプレー等での着色、色紙の使用等。）
- (3) 用紙裏面への支持棒挿入用袋の添付など、作品掲示用の加工は参加チーム各自が事前に行っておくこと。（作品掲示用ステンレス製ポール4本は主催者が準備する。）

16. 揮毫用具

- (1) 筆・墨・墨汁等の用具、衣装、音源等は、参加チームが準備すること。
- (2) 書道用の墨（パフォーマンス用、カラー墨汁など）を使用すること。
- (3) 特殊効果（照明・スモーク等）の使用は禁止。

17. パフォーマンスの時間

- (1) 開始挨拶（「お願いします」等）→揮毫→作品掲示（15秒静止）→終了挨拶（「ありがとうございました」等）までを通して、6分以内とする。
- (2) 作品掲示は、審査員に向けてほぼ垂直に作品を立て、15秒間を目安に静止する。

18. 揮毫内容の同一性

本選でのパフォーマンスの内容は、予選に提出したものと同一である必要はないが、予選で示した主題・構成意図を概ね踏襲し、大幅に変更してはならない。

19. 音源

使用する音源は、別紙「大会の使用楽曲に関するお願い」の条件を満たしていること。

20. 揮毫エリア

- (1) 本選の揮毫エリアは、原則として間口14m、奥行9mとし、その境界はテープ等により明示する。
- (2) 揮毫エリアの寸法は、会場の都合により変更されることがある。

21. 照明・音響

本選の照明・音響は、主催者設定のものを使用する。

22. 服装

服装は、公序良俗に反しない品位あるものとする。

23. 禁止行為

- (1) 身体の一部または揮毫用具・用材が揮毫エリアの境界を越えて、外部に進入する行為。
- (2) 主催者が指定した揮毫用紙・揮毫用具以外の物品の使用。

24. 減点

時間超過や禁止行為は審査の評価に反映される。

25. 安全管理・免責

- (1) 安全管理は主催者と参加者が協力して行う。
- (2) 事故・盗難等について、主催者は重大な過失がない限り責任を負わない。
- (3) 会場の汚損・破損があった場合、参加チームが原状回復費用を負担する。

26. 個人情報の取扱い

- (1) 参加登録により、個人情報の取得・利用に同意したものとする。
- (2) 本大会の参加者は、選手名を含む個人情報等について、ホームページ・パンフレット等への掲載、また報道関係への情報提供や取材等に承諾したものとする。
- (3) 本大会の参加者は、大会で撮影した画像・映像・音声等について、大会PR等のために使用することを承諾したものとする。

27. 知的財産権

- (1) 提出物の所有権は主催者に帰属する。
- (2) 主催者は提出物（作品・映像等）を広報等に利用できるものとする。
- (3) 提出物は返却しない。
- (4) 応募をもって、写真・動画・企画書等の広報利用に同意したものとみなす。
- (5) 作品の著作権は各参加チームが有する。本選で制作された作品の所有権は主催者が有し、広報のため二次的活用ができるものとする。

28. 大会終了後の作品

本選で制作した作品は、参加チームが持ち帰るものとする。

本規則は、令和8年3月3日から施行する。